

〔応募締切〕
2022年
9/18(日)

- 気になるので受診したいのですが病院選びのコツは？
- 悪化させないためにどんなことに気をつけたい？
- 治療費が高いのではないかと心配なのですが…
- 高齢なのですが関節リウマチの手術はした方がいいの？

あなたの疑問に専門医が答えます！

どんな疑問・質問でも結構です。ぜひ、下記までご応募ください！
東京新聞本紙の中で、12月から毎月4回にわたり関節リウマチの専門家の医師が回答します。

私たちが
お答え
します！



世田谷区 大友内科リウマチ科 千歳山病院 院長
大友 耕太郎 先生



JCHO 東京山手メディカルセンター リウマチ・膠原病内科 部長
金子 駿太 先生



成増慶友整形外科リウマチ科 院長
森澤 妥 先生



富士森内科クリニック リウマチ科 院長
清川 重人 先生

その痛み、「関節リウマチ」かも!?



「関節リウマチ」って、どんな病気ですか？

関節リウマチとは何らかの原因で異常をきたした免疫が、自分の関節を攻撃してしまう病気です。原因は不明ですが、遺伝的要素に加えて、喫煙・歯周病・腸内細菌の乱れなどとの関係も指摘されています。

関節リウマチかどうかは、問診・診察に加え血液検査やレントゲン・関節エコーなどの画像検査を経て診断します。治療は免疫抑制剤を中心とした薬物療法が基本で、患者さんの状態をみながら抗リウマチ薬や関節症状の改善に役立つ生物学的製剤、ステロイド剤や痛み止めなども併用します。生活面ではストレスを避け、十分な睡眠をとって、炎症が強い時以外は適度な運動によって関節・筋肉を鍛えることも大切です。

早期発見・早期治療で
快適でハッピーな生活を
目指しましょう！



世田谷区 大友内科リウマチ科 千歳山病院 院長 大友 耕太郎 先生
医学博士、日本リウマチ学会 専門医・指導医、日本内科学会 認定医・総合内科専門医・指導医

患者さんの中には、強い痛みのために「結婚や出産は考えられない」「仕事を諦めます」とおっしゃる方もいらっしゃいますが、私は「症状が悪い時に、人生の大事な決断をしないでください」と伝えていきます。現在は治療薬が劇的に進歩したおかげで、数ヶ月後には症状が改善していることも珍しくないからです。仕事を一旦休職し、薬が効いてから復職している方も少なくありません。強い関節変形を起こすこともなく、旅やスポーツを楽しみ、治療を続けながら快適でハッピーな普通の生活を送る！そんな「寛解」という状態に至る人が増えているのです。

関節リウマチは発症後の2〜3年が最も進行しやすい期間であり、早期発見・早期治療が非常に重要です。もし2つ以上の関節に痛みがあり同じ症状が2〜3週間続くならば、早急にリウマチ科のある医療機関やリウマチ専門医に相談することをお勧めします。



*1 日本リウマチ学会Webサイト「リウマチ発症率と罹患率」について
*2 厚生科学調査委員会「関節リウマチ発症率調査報告書 平成30年」

ご応募はメールでお気軽に

- 【応募方法】下記いずれかの方法でメールにて質問をお送りください。
- ① 二次元コードをスマートフォンで読み取り：バーコードリーダー機能のあるスマートフォンで左の二次元コードを読み取ります。宛先が自動入力されたメールが立ち上がり、ご質問を入力し送信してください。
 - ② メールアドレスを入力：メールアプリを立ち上げ、宛先に下記アドレスを入力。ご質問を入力し送信してください。 ra@braincafe.net



【注意事項】●全ての質問にお答えすることはできませんので、あらかじめご了承ください。●質問への回答は紙面にて行い、連絡はできません。●いただいた質問の文章には、掲載時に手を加えていただく場合があります。●お急ぎの質問や気になる症状がある場合は、直接近くの医療機関を受診してください。●メールの送信には送信料がかかります。●メールの送信先は、認知症ケアマ(株)の協力会社となります。●メールアドレスなどの個人情報は、本件以外の目的で使用することはありません。